

既得ノ權利ノ保全ノ爲ノ國際制度ハ其ノ居所ヲ問ハズ一切ノ受給者ニ適用スルカ又ハ本制度ヲ採用スル締盟國ノ領土ニ居住スル受益者ノミニ適用スルコトヲ得  
事務局ノ提案左ノ如シ

二十二、受益者ノ居所

(イ) 其ノ居所ヲ問ハズ一切ノ受益者ニ對シ又ハ

(ロ) 國際制度ヲ採用スル締盟國ノ領域内ニ居住スル受益者ノミニ對シ

國際制度ヲ適用ス

右原案ハ三十四票對零ニテ採擇セラレタリ

二十三、受益者ノ國籍

若干ノ相互協定ハ契約國ノ國民ニ關スル限りニ於テノミ居住條件ヲ廢止シ他ノ相互協定ニ於テハ國籍ヲ問ハズ一切ノ年金受給者ニ此ノ特權ヲ擴張ス

事務局ハ左ノ原案ヲ提案セリ

二十三、受益者ノ國籍

(イ) 國籍ヲ問ハズ一切ノ受益者ニ對スル又ハ

(ロ) 國際制度ヲ採用スル締盟國ノ國民タル受益者ノミニ對スル

國際制度ノ適用

或ル政府側委員ハ左記ノ(ハ)項ヲ附加スル爲修正案ヲ提出セリ

(ハ)又ハ(ロ)項ガ採擇セラルルトキハ國籍ヲ有セザル一切ノ者ニ對スル

右修正案ハ第三點ニ挿入セラレタル修正ト同一ノモノニシテ三十七票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

ろ——國際制度ノ目的

二十三、(イ)國際制度ノ下ニ於ケル内國人及外國人受益者ノ均等待遇ノ原則

三人ノ政府側委員ハ第二十四點ノ前ニ第二十三點(イ)ヲ挿入スルコトヲ提案セリ

二十三(イ)國際制度ノ下ニ於ケル受益者ニ付テハ保險給付ニ對スル權利ニ付國民トノ均等待遇ノ

原則ヲ適用スルコト

右修正案ノ提案者ハ國際制度ノ下ニ於ケル受益者ハ極メテ多ク場合外國人ニシテ給付ニ對スル外國人ノ權利ハ國內法律ニ依リ往々重大ナル制限ヲ蒙リ且從ツテ本國際條約案ガ國際制度ノ下ニ於ケル内國人ト外國人トノ均等待遇ノ原則ヲ強固ナラシムルコトヲ得ザルトキハ權利ノ保全ハ不完全ナルコトニ注意ヲ喚起セリ内國人ト外國人トノ均等待遇ノ問題ノ解決ハ一九三三年ノ癘疾、老齡、及寡婦孤兒保險ニ關スル條約案ニ見出シ得ルモ國際制度ノ下ニ於ケル受益者ニシテ給付義務アル機關ノ國ノ外ニ居住スルモノニ關シテハ不完全ナリ一九三三年ノ條約ト權利ノ保全ニ關スル本條約案トノ間ニ重大ナ

ル矛盾ノ生ズル虞ハナカルベシ蓋シ發見セラルル解決ノ道モ又一九三三年ニ採擇セラレタルモノト同類ナルベケレバナリ兎モ角モ、權利ノ保全ノ爲ノ完全ナル國際制度ヲ確立スル可能性ニ關シ諸國政府ニ諮問スルコト必要ナルベシ

是等ノ議論ノ後本議題ハ權利ノ保全ニ關スルモノナルニ右ノ修正案ハ既得ノ權利ヲ維持スルノミナラズ年金ノ給付義務アル機關ノ國ニ居住スト雖モ受クルコトナキ給付又ハ給付ノ一部ニ對シ新ニ權利ヲ作り出ス傾向ノ大イニ存スルコト指摘セラレタリ加之内國人及外國人ノ均等待遇問題ハ既ニ廢疾、老齡、及寡婦孤兒保險ニ關スル一九三三年ノ條約案ニ依リ解決セラレタルモノナレバ之ニ關スル審議ガ再ビ開カルルトアツテハ一九三五年ニ於テハ一九三三年ニ採擇セラレタル方法トハ異リタル方法ニ到達スルノ虞アリ

表決ニ付セラレ右修正案ハ十三票對十三票ニテ結局採擇セラレザリキ

#### 二十四、給付ノ各部分ノ保全

既得ノ權利ノ保全ノ原則ヲ給付ノ各部分ニ適用スルコトニ付諸國政府ヲシテ其ノ意見ヲ述ベシムル爲提案セラレタル事務局ノ原案左ノ如シ

#### 二十四、國際制度ヲ

- (イ) 權利ノ取得セラレタル給付ノ全體ニ對シ又ハ

- (ロ) 公ノ基金ヨリ全部又ハ主トシテ支拂ハルル補助金附加金又ハ手當ノミニ對シ

#### 適用スルコト

右ノ原案ハ二十二票對零ニテ異議ナク採擇セラレタリ

#### 二十五、公ノ基金ヨリ支拂ハルル補助金、附加金、又ハ手當

國內ノ法律及國外ニ於ケル年金ノ支拂ヲ保障スル若干ノ相互協定ハ屢々公ノ基金ヨリ支拂ハルル年金ノ補助金、附加金又ハ一部ノ保全ニ付留保ヲ爲シ年金ノ右ノ如キ部分ハ國外ニ居住スル受益者ニ對シテ支拂ハレザルベキ旨ヲ規定ス

事務局提案左ノ如シ

- 二十五、公ノ基金ヨリ全部又ハ主トシテ支拂ハルル補助金、附加金又ハ手當ハ右ノ何レカニ對シ

テ支拂ハルベキコト

- (イ) 國籍ヲ問ハズ一切ノ者ニ對シ又ハ  
(ロ) 國際制度ヲ採用スル締盟國ノ國民ノミニ對シテ

右ノ原案ハ第二十三點ニ於テ挿入セラレタルト同一ノ(ハ)項ヲ附加シテ二十二票對零ニテ採擇セラレタリ

- (ハ) 又ハ(ロ)項ガ採用セラルルトキハ國籍ナキ一切ノ者ニ對シテモ

## 二十六、年金ノ振替ニ關スル制限

若干ノ法律ハ請求者ガ外國ニ移住スル場合ハ年金ノ支拂義務ヲ一時金ニ振替フルコトヲ得ル旨規定ス、振替ニ依ル決濟ハ移住者ノ受クル支拂金ガ年金ノ資本價值ヨリモ少キトキハ移住者ノ利益ヲ損フ此ノ振替ニ依ル決濟ノ方法ヲ採ルトセバ之ニ對シテ課サルベキ制限ニ關シ諸國政府ヲシテ其ノ意見ヲ述ベシムル爲事務局ハ左ノ原案ヲ提案セリ

## 二十六、年金ノ一時金振替ニ關スル制限

國際制度ヲ採用スル締盟國ノ領域内ニ居住スル間ハ、國外居住ノ場合ニ於ケル年金ノ一時金振替ニ關スル國內法ノ規定ヲ國際制度ノ下ニ於ケル受益者ニ對シテ適用セザルコト  
右原案ハ二十二票對零ニテ採擇セラレタリ

## ハ——給付ノ支拂ニ關スル手續

當該國ノ領域外ニ於ケル保險給付ノ支拂ニ關シテ國內法ニ依リテ規定セラルル手續——(例ヘバ當該保險機關ニ對シ國外居住地ヲ通知スルコト及受益者ノ存命ナルコトヲ周期的ニ證據立ツルコト)——ハ本國際制度ニ於ケル受益者ニモ亦適用セラルベキナリ現ニ双務協定ハ受益者ノ從フベキ手續ニ關スル國內法ノ規定ハ變ラザルベキコトヲ特ニ規定ス

## 二十七、支拂ノ方法

年金受給者ガ國外ニ居住スルテ事實ハ支拂ニ付準據スベキ法律ニ從ヒ年金ノ給付義務ヲ生ズル機關ノ責任ヲ輕減スルモノニ非ズ、各保險機關ハ普通ニハ其ノ領域内ニ於テ且其ノ國ノ通貨ニテ給付ヲ付與ス、國外ニ於ケル支拂ヲ容易ナラシムル爲設ケラルベキ如何ナル手續ニ依ルモ、當該機關ハ其ノ國ノ通貨以外ニテ支拂ヲナスベク強ヒラルルコトナシ

事務局ノ提案セシ原案左ノ如シ

## 二十七、支拂ノ方法

給受資格ヲ有スル者ニ對シテ自國ノ通貨ヲ以テ給付義務ヲ履行スル給付義務アル保險機關ノ權限

## 二十八 少額年金ノ振替

國外ニ於ケル小額年金ノ支拂ハ比較的多大ノ費用ヲ伴フ

仍ツテ若干ノ双務協定ハ若干ノ國內法ニモ見出サル處ナルガ給付義務アル保險機關ハ月額ガ所定ノ一定最低限度ニ達セザル年金ヲ保險數學上ノ原則ニ依リ計算セラルベキ一時金ニ任意ニ振替フルコトヲ得ベシトナス規定ヲ挿入ス

事務局ノ提案セシ原案左ノ如シ

## 二十八、小額年金ノ振替

年金ニシテ月額ガ一定ノ最低限度(例ヘバ五金法)ニ達セザルモノヲ當該機關ニ適用アル規定ニ

從ヒ計算セラルベキ一時金ニ振替フルコトヲ得ル給付義務アル保險機關ノ權限  
 或ル政府側委員ハ五金法ナル例示ノ削除ヲ提案セリ蓋シ右金額ハ通貨ノ下落セル國ニ於テハ高キニ  
 過ギ通貨ノ騰貴セル國ニ於テハ低キニ過グベク從ツテ絶對的數字ハ關係國ニ依リ大ナル開キヲ齎スベ  
 ケレバナリ

他ノ或ル政府側委員ハ第二十八點ガ二重ノ問題ヲ取扱フモノナルコトヲ注意セリ月額ガ所定ノ一定  
 限度ニ達セザル部分年金ノ各機關ニ依ル振替及月額ガ所定ノ一定限度ニ達セザルトキ支拂フベキ全部  
 年金ノ一切ノ關係機關ニ依ル振替

委員會ハ五金法ノ例示ヲ削除シ且第二十八點ニ左記ヲ加フルコトニ決定セリ

二又ハ三以上ノ部分年金ノ支拂ノ場合ニ於ケル特別限度

第二十八點ハ右ノ如ク修正セラレ二十七票對零ニテ採擇セラレタリ

二十九 減額及停止ニ關スル規定

原則トシテ強制保險ニ依リ支拂ハルル給付ハ嚴密ナル法律上ノ權利トシテ付與セラル然レドモ年金  
 受給者ガ強制社會保險又ハ勞働者災害若ハ職業病ノ補障ニ關スル法律ニ依リ支拂ハルル他ノ給付ヲ受  
 ケ居ル間ハ給付ノ支拂ヲ全部又ハ一部停止スルコトヲ得ル程度ニ本原則ノ適用ヲ制限スル法律ハ多數  
 ニ上ル

競合的給付ノ可能性ヲ防止シ又ハ制限スル是等規定ハ被保險者又ハ其被扶養者ノ蒙ル損失ヨリモ大  
 ナル額ノ全額ノ給付ヲ支給スルハ社會保險ノ職務ニ非ズトノ理由ヲ以テ擁護セラル減額又ハ停止ニ付  
 斯ノ如キ規則ヲ具體化スル法律ニ有スル國家間ニ締結セラルル双務協定ハ是等制限ガ年金者ノ場合他  
 ノ契約國ノ保險機關ニ依リ支拂ハルル給付ニ關シテモ亦適用セラルベシト規定ス  
 事務局提案セシ原案左ノ如シ

二十九、減額及停止ニ關スル規定

他ノ社會保險給付トノ競合的權利ノ場合又ハ強制保險ヲ伴フ勞務ノ遂行ノ場合ニ於ケル給付ノ減  
 額又ハ停止ニ關スル締盟國ノ國內法ノ規定ハ本制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ領域内ニ設ケラルル保  
 險機關ニ依リ支拂ハルベキ給付及斯ル領域内ニ於ケル勞務ノ遂行ニ關シテモ受給者ニ適用セラル

四——管理上ノ相互援助

三十 相互援助ノ原則

此ノ原則ハ一切ノ双務協定ニ規定セラル右原則ハ契約國ノ管理機關及保險機關ニ對シ正ニ自國ノ保  
 險法實施ノ場合ノ如ク相互ニ援助スベキ義務ヲ課ス此ノ原則ハ一方ニ於テハ保險機關ニ關係シ他方ニ  
 於テハ其性質上特別機關タルト一般の機關タルトヲ問ハズ行政及司法ノ機關(但シ行政及司法機關ノ  
 場合ハ是等機關ガ保險法令ノ實施ニ參加スル限リトス)ニ關係ス

事務局ノ提案セシ原案左ノ如シ

三十、國際制度ヲ採用スル締盟國ノ官廳及社會保險機關ハ自國ノ社會保險法令ヲ適用スル場合ト同一ノ程度ニ相互ニ援助スベキコト

或ル勞働者側委員ハ第三十點ニ左記新條項ヲ加フル修正案ヲ提出セリ尤モ其ノ案ハ討論中提案者ニ依リ變更ヲ加ヘラレタリ

本條約案ニ基キテ定メラルル決定ニ付テハ適當ナル勞働團體ト協議スルコト

右修正案ノ提案者ハ權利ノ保全ノ爲ノ國際制度ノ適用ハ各種ノ困難ヲ生ズル虞アリ且受益者ガ常ニ其ノ權利ノ性質ヲ正確ニ理解シ得ルトハ限ラズ且勞働團體ノ協力ニ付規定スルコト必要ナルベシト説明セリ其ノ任務ハ他ノ多數ノ點ニ於ケルト同ジク此ノ點ニ於テモ勞働者ノ利益ヲ擁護スルニ存ス

若干數ノ政府側委員及一名ノ使用者側委員ハ勞働者ガ其ノ代表者ヲ通ジテ既ニ多クノ國ニ於ケル保險機關ノ管理ニ參加シ居リ、是等機關ハ國家ノ監督ヲ受ケ、斯クシテ被保險者ノ權利ハ完全ニ保障セラレバ從テ勞働團體ノ協力ハ使用者團體ノ協力同様其必要ヲ見ザル旨指摘シタリ

右修正案ハ七十七票對十四票ヲ以テ否決セラレタリ次イデ事務局「テキスト」ハ二十六票對零ニテ採擇セラレタリ

### 三十一 調査

或ル管理手續例ヘバ受益者ガ引續キ受給資格條件ヲ具備スルカ否ヤヲ確ムルニ必要ナル調査及醫學診斷等ノ如キハ相互援助ニ依ルノ外遂行シ難キモノナリ

### 三十一、調査

國際制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ保險機關ニ給付義務アル給付ノ受給者ガ資格條件ヲ具備スルヤ否ヤヲ決定スル爲右機關ヨリ要求セラルル必要ナル調査及醫學診斷ヲ包含スベキ相互扶助

### 三十二 相互援助ノ費用

事務局ノ提案セシ原案左ノ如シ

### 三十二、相互援助ノ費用

相互援助ノ費用ノ償還ニ關スル規則

(イ) 援助ヲ付與スル保險機關又ハ官廳ノ表ニ依ル償還金額ノ決定又ハ表ナキトキハ生ジタル實費ノ償還

(ロ) 償還ノ日

此ノ原案ハ三十二票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

### 三十三 免稅

事務局ノ提案セシ原案左ノ如シ

### 三十三、免 税

一締盟國ノ官廳又ハ保險機關ニ提出セラルル書類ニ關シ付與セラルル免税ノ特權ハ國際制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ官廳又ハ保險機關ニ對シ國際制度ノ管理ニ關聯シテ提出セラルル對當ノ書類ニモ擴張セラルベキコト

右ノ原案ハ三十二票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

### 三十四 受益者ノ居所ノ機關ニ依ル給付ノ管理

双務協定ノ大多數ハ給付支拂ニ關シ特種ノ相互援助ヲ規定ス給付支拂義務アル機關ガ自己ノ負擔ニテ給付ノ管理及支拂ヲ受給者ノ居所ヲ管轄スル機關ニ委任スルコトヲ得

事務局ノ提案セシ原案左ノ如シ

### 三十四、受益者ノ居所ノ保險機關ニ依ル給付ノ管理

受益者ガ國際制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ領域内ニ居住スルトキハ給付義務アル機關ハ受益者ノ居所ヲ管轄スル機關ト協定シ償還ヲ條件トシテ之ニ給付ノ管理ヲ委任スルコトヲ得シメラルベキコト

或ル勞働者側委員ハ英文ノ字句ガ明瞭ヲ缺クト主張シ且受益者ノ居所ノ保險機關ガ給付ノ全額ヲ支

拂フ義務アルベキコトヲ明白ニ述ブル必要アルコトヲ指摘セリ

右勞働側委員ト事務局ノ専門トノ意見ガ一致セシニ依リ委員會ハ第三十四點ノ最初ノ文ヲ左ノ如ク書キ更ムルコトニ決定セリ

### 三十四 受給者ノ居所ノ保險機關ニ依ル全額給付ノ管理及支拂

右ノ變更ヲ加ヘ第三十四點ノ全體ハ異議ナク採擇セラレタリ

### 三十四(イ)移住國へ入國スルト共ニ生ズル申告ノ義務

二名ノ政府側委員ハ左ノ修正案(討論中變更ヲ加ヘラレタリ)ヲ提出セリ

### 三十四(イ)申告ノ義務

國際制度ヲ採用スル締盟國ノ保險ニ加入スル被保險者ガ加入ノ日ヨリ起算セル特定ノ期限内ニ、國際制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ保險ニ於テ費シタル期間ヲ申告スル義務

若干ノ政府側委員ハ給付義務アル機關ノ仕事ヲ大イニ容易ナラシムル右ノ如キ規定ノ有用性ヲ強調セリ

他ノ政府側委員及一名ノ勞働側委員ハ斯クノ如キ規定ヲ適用スルハ困難ナルベシト述ベタリ蓋シ多クノ場合ニ於テ被保險者ハ各詳細部分ニ亙リテ正確ヲ保證シ得ル如キ申告ヲ爲スニ充分ナル程詳細ナル情報ヲ有セザルヲ以テ國ナリ

右修正案ハ二十七票對零ニテ採擇セラレタリ

三十四、(ロ)國際制度ノ適用ヲ容易ナラシムル特別團體ノ設置

或ル政府側委員ハ第三十四點(ロ)ナル新ナル點ノ附加ニ付、左ノ提案ヲ委員會ニ提出セリ

三十四、(ロ)國際制度ノ適用及解釋ニ付國際制度ヲ採用スル締盟國ヲ援助スル爲ノ特別ナル團體ノ設置

右案ノ提案者ハ國際制度ノ適用ハ多數ノ詳細部分ニ付種々ナル疑問及困難ヲ生ズベク、右提案ニ計畫セラレタル特別ナル國際團體ハ國際制度ヲ採用スル多數ノ國ニ極メテ重要ナル貢獻ヲ爲スベキ旨說明セリ尙其ノ上ニ右特別團體ガ第四〇八條ニ基ク事務局及委員會ノ任務ヲ侵スモノニモ非ズ又國際條約ノ解釋ニ關スル常設國際司法裁判所ノ權限ヲ侵スモノニモ非ザルベキ旨說明セリ後ノ點ニ關スル疑念ヲ一掃スル爲其ノ提案ヨリ「及解釋」ナル字句ヲ削除スルコトヲ承認セリ

或ル勞働者側委員ハ右團體ノ構成上國際勞働總會及事務局理事會ヲ支配スル原則ニ準據シテ諸國政府ノミナラズ更ニ勞働團體及使用者團體ヲ加ヘテ是等ノ三要素ノ協力ニ付規定スベキコトヲ要求セリ或ル使用者側委員ハ前例ヲ見ザル斯ル特別團體ノ創設ノ緊急性ニ付、疑問ヲ表明シ且國際制度ノ適用ヲ容易ナラシムル爲必要ナル一切ノ援助ヲ與フルニハ國際勞働事務局ノミニテ足ルベシト述べタリ

他ノ委員ハ國際勞働事務局ハ國際制度ノ適用ニ付諸國政府ニ援助ヲ付與シ得ル程度汎ナル力ヲ有スルモノトハ見受ケラレザルヲ以テ此ノ種ノ團體ノ創設ニ賛成スル旨ヲ表明セリ

「及解釋」ナル字句ヲ削除セラレタル提案ハ二十票對八票ヲ以テ採擇セラレタリ

五、國際制度ノ實施

三十五 効力發生ノ日

權利ノ保全ノ爲ノ國際制度ヲ確立スル條約案ノ効力發生ノ日ハ通常ノ原則ニ依ツテ決定セララルベシニケ國ノ批准ガ登録セラレテヨリ十二月後ニ効力發生スベク爾後各締盟國ニ付其ノ批准ノ後十二月後ニ効力發生スベシ

是等規定ハ既ニ傳統ニ依リテ確立セラレタルモノナルガ之ヲ茲ニ述ブル所以ノモノハ右締盟國ニ依ル條約案ノ實施ハ其ノ批准ノ日ヨリ滿十二月ノ後ニ義務的トナルベキコトヲ強調センガ爲ナリ事務局ノ提案セシ原案左ノ如シ

三十五、効力發生ノ日

(イ) 最初ノ効力發生

二締盟國ニ依ル批准登録後十二月

(ロ) 他ノ締盟國ニ對スル効力發生

其ノ批准ノ登録後十二月

五二

右ノ事務局原案ハ異議ナク三十四票對零ニテ採擇セラレタリ

三十六 國外居住ノ理由ニ依リ付與セラレザルカ又ハ停止セララルル給付

既得ノ權利ノ保全ニ關スル規定ハ國外居住中ノ給付ノ受給ニ對スル制限ノ廢止ヲ其ノ主要目的トス  
本條約案ノ効力發生前ニ單ニ國外居住ノ理由ニ依リ付與セラレザリシカ又ハ停止セラレ居ル給付ニ  
特ニ關係アル一條項ノ存セザルトキハ右條約案ハ其ノ効力發生後ニ生ズル件ノミニ適用セララルベシ  
本條約案ニ於テハ居住條件ハ受益者ニ適用セララルベキニ非ザルヲ以テ居住條件以外ノ點ニ於テハ本  
條約案ニ規定セララルル諸條件ヲ具備スル者ノ爲單ニ國外居住ノ理由ニ依リ付與セラレザリシカ又ハ停  
止セラレ居ル給付ハ新ニ付與セララルルカ又ハ再開セララルベキコトヲ規定スルコトハ正當ナルベシ斯ク  
テ本條約案ノ効力ハ年金權ニ關シテハ遡及的ナレドモ年金ノ支拂ニ關シテハ然ラズト云フコトヲ得、  
蓋シ實施ノ日以前ノ期間ニ付テノ年金支拂義務ハ存セザルコトナルベケレバナリ

事務局ノ提案セシ原案左ノ如シ

三十六、他ノ點ニ於テハ年金受給資格アル者ガ單ニ國外ニ居住スル爲付與セラレザリシカ又ハ停  
止セラレ居ル年金

國際制度ノ効力發生ノ日ヨリノ斯ル年金ノ付與又ハ支拂ノ再開

右原案ハ三十四票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

三十七 本條約案ノ効力發生前ノ期間ニ關スル權利ノ回復

取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全ノ爲ノ國際制度ガ若シ其ノ効力發生後ノ期間ニ關シテ發生スル權利ノ  
ミヲ取扱フトセバ現在ノ被保險者ニハ價值少カルベシ此ノ故ニ近時締結セラレタル双務協定ハ悉ク當  
該協定ノ効力發生前ノ期間ニ關スル權利ヲ回復スベキコトヲ要求スルカ又ハ少クモ回復スルコト可  
能ナラシム、被保險者ニシテ効力發生前ニ契約國ノ一國ニ於ケル保險ヨリ他國ノ保險ニ移リ且其ノ爲  
ニ最初ノ國ニ於テ費シタル保險加入期間ニ關スル權利ヲ喪失シタルモノハ右期間ニ關スル權利ヲ協定  
ノ効力發生日ヨリノモノト看做シテ回復スルカ又ハ回復スルコトヲ許容セララル。斯クノ如ク双務條約  
ノ效果ハ其ノ効力發生前ノ期間ニ關スル權利ニ付遡及的ナリ

確立セララルベキ國際制度ニ於テモ同一ノ方策ヲ採リテ可ナラント思惟セララル

右制度ヲ管理スル場合ニハ關係アル締盟國ニ依ル國際制度ノ實施以前ノ保險期間ヲ考慮スベキナリ  
然レドモ此ノ場合ニ於テモ遡及的效果ハ是等期間ニ關スル權利ノミニ及ビ年金ノ支拂ニハ及バズ從ツ  
テ關係アル締盟國ニ對スル本條約案ノ効力發生前ノ期間ニ付テハ支拂ハ爲サレザルベシ  
事務局提案ノ原案左ノ如シ

三十七、國際制度ノ効力發生前ノ期間ニ關スル權利ノ回復

五三



國際制度ヲ適用スルニ當リテハ當該制度ノ效力發生前ノ期間ヲ考慮スベキコト  
右原案ハ三十四票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

三十八 以前ノ付與ノ再審査

本條約案ヲ實施スル場合本條約案ノ效力發生前ノ期間ニ關スル權利ヲ考慮スベキコトガ認めラルル  
トキハ本條約ニ基キ權利ヲ回復シ又ハ給付ヲ爲ス爲既ニ付與セシ付與ノ再審査ニ關スル手續ヲ規定ス  
ルコト必要トナル

事務局提案ノ原案左ノ如シ

三十八 以前ノ付與ノ再審査並ニ本制度ニ基キ權利ヲ回復シ又ハ付與ヲ爲スコトヲ目的トスル權  
利ノ再審査

(イ) 再審査ハ

職權ニ據リ

(二) 關係機關ノ一ノ請求ニ基キ

(三) 請求者ヨリノ要求ニ基キ

行ハル

(ロ) 再審査ハ

(一) 請求ガ既ニ一時金ノ支拂ニ依リ決算セラレ居ル場合

(二) 關係者ガ本制度ヲ採用スルニ又ハ三以上ノ締盟國ノ機關ニ依リ國際制度ノ實施以前ニ年

金ヲ付與セラレ居リタル場合

行ハレズ

(ハ) 再審査ハ本制度ノ效力發生前ノ期間ニ付テノ未拂金ノ支拂又ハ給付ノ返濟ヲ伴フモノニ非  
ズ

此ノ原案ハ三十四票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

三十九 未ダニ強制老齡保險ヲ確立セザル締盟國ニ依ル約定

國際制度ヲ採用スル締盟國ノ國內法ハ必ズシモ均一ナラズトモ是等ノ間ニ權利保全ノ爲ノ國際制度  
ガ實施セラルルコトハ可能ナリ權利ノ保全ノ措置ハ夫々ノ締盟國ノ法律ニ依リ勞働者ニ對シテ保障セ  
ラルル保護ノ程度ニ關係ナク作用スルコトヲ得、各保險機關ハ保險期間ノ通算ヲ別トスレバ自己ノ法  
律ニ依リ規定セラルル條件ノミヲ適用ス其ノ故ニ保護ノ程度ニ於ケル均等性ハ不可缺ノモノトハ事務  
局ニハ思惟セラレザリキ

然レドモ右措置ノ適當ナル作用ヲ確保スル爲本制度ニ包含セラルル保險機關ハ假令老齡、廢疾、死  
亡ノ三事故ヲ包含セズトモ少クトモ老齡又ハ廢疾ヲモ併セテ包含スルヲ要ス、仍ツテ廢疾、老齡及死

亡ニ對スル強制保險ヲ既ニ確立シ居ラズニ國際制度ヲ採用スル締盟國ハ同時ニ其ノ批准登錄ノ日ノ十二月後ニ少クトモ強制老齡保險又ハ強制癱疾保險ヲモ併セテ創制スルコトヲ約スベキナリ之ニ留意シテ事務局ハ左記ノ原案ヲ提案セリ

三十九、少クトモ老齡事故又ハ癱疾事故ヲモ包含スル強制保險制度ヲ未ダ創設セザル締盟國ハ其ノ批准登錄後十二月以内ニ然カ爲スコトヲ約スコト

或ル政府側委員ハ事務局ノ原案ニ不滿ニシテ第三十九點ヲ左記ノ字句ニ變フベキコトヲ提案セリ

三十九、國內ニ居住スル者ノ爲ニ國際制度ノ利益ヲ確保スルコトヲ希望スル諸國ノ間ニ一定ノ平衡ヲ確立スル爲批准ハ、

(イ) 癱疾、老齡及寡婦孤兒保險ハ既ニ當該國ニ於テ實施セラレ居ルコト及

(ロ) 當該國ハ第十七回國際勞働總會ニ依リ採擇セラレタル癱疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ關スル

條約案カ又ハ是等條約案中工業的企業及商業的企業ニ使用セララル者ニ適用アル條約案ヲ既

ニ批准シ居ルコト

ヲ意味ス

右修正案ノ提案者ハ或ル國ノ領域内ニ癱疾、老齡及寡婦孤兒保險ガ實施セラレ居ラザル限り且實施セラレ居ルモ斯ル法令ガ少クトモ工業的企業及商業的企業ニ使用セララル者ニ關シテ癱疾、老齡及寡

婦孤兒保險ニ關スル一九三三年ノ諸條約ニ規定セララル最低標準ニ達セザル限り右ノ國ハ國際制度ヲ採用スルコトヲ許容セラルベキニ非ズト思惟スル旨ヲ述ベタリ

或ル勞働側委員ハ或ル締盟國ニ依ル國際制度ノ採用ノ條件トシテ同國ニ依ル一九三三年ノ諸條約案ノ批准ヲ要求スルコトガ危險ニシテ且時ニ無用ナル事實ヲ指摘セリ蓋シ或ル國ニ實施セララル癱疾、老齡及寡婦孤兒保險法令ガ一九三三年ノ諸條約案ニ規定セララル標準ニ達スルカ又ハ更ニ之ヲ超過シ居ルモ猶或ル微細ナル箇所ニ於テ國內法ガ右諸條約案ト相違スル爲右ノ國ガ是等條約案ヲ批准シ得ザル場合生ズベケレバナリ

事務局ノ專問委員ハ第十一點ニ見ル如ク本國際制度ニ於ケル主要原則ハ各締盟國ヲシテ自國ノ法律ノミニ依リテ計算セラルル給付ヲ支拂ハシムルモノニシテ且保全ノ措置ハ程度ノ相違スル法令ノ間ニモ猶良ク行ハルルコトヲ牢記スベヘシト述ベタリ

仍テ右修正案ノ提案者ハ其ノ動議ヲ撤回シ且事務局原案ノ第三十九點ニ第三十九點(イ)ヲ加フル爲左記ノ新修正案ヲ提案セリ

三十九(イ)國際制度ヲ採用スル締盟國ノ癱疾、老齡又ハ寡婦孤兒保險法ニ依リテ充サルベキ最低條件

或ル政府側委員ハ右修正案ト相異ル處ハ「又ハ」ガ「及ビ」トナリ居ル殆ト同一修正案ヲ提出セリ

右修正案ノ提出者二名ハ國內法ニ依リテ寡婦孤兒保險ノ存スルトキハ寡婦孤兒保險ニ於テモ亦最低條件ヲ規定スル爲ニ「又ハ」ヲ「及ビ」ニ變更スルコトニ意見一致セリ

第三十九點ノ事務局原案ハ二十七票對零ヲ以テ採擇セラレ且二名ノ政府側委員ノ修正案ハ右ニ述ベタル趣旨ニ基キ十六票對八票ヲ以テ採擇セラレタリ

或ル使用者側委員ハ第六點ニ關スル政府側委員ノ修正案ノ根本的觀念ニ立返リ第三十九點(ロ)ノ新ナル點ヲ附加スルコトヲ要求セリ右ノ新ナル點ハ審議中改メラレテ左ノ如クナリタリ

三十九(ロ)締盟國ノ一ノ國內法ガ三事故ヲ包含セザル場合ニ適用セラルル規定

未ダ強制癱疾保險又ハ強制寡婦孤兒保險制度ヲ設置セズシテ國際制度ヲ採用スル締盟國トノ關係ニ於テハ國際制度ヲ採用スル締盟國ハ國內法ノミヲ適用シ得ル權限

右修正案ノ提案者ハ採擇濟第三十九點ノ原案ハ締盟國ニシテ其ノ國內法ガ三事故ヲ包含セザルモノニモ國際制度ヲ採用スルコトヲ許容スルコトニ注意ヲ喚起シ且或ル國ノ法律ガ單ニ老齡事故シカ包含セザル場合ニモ國際制度ヲ作用セシムル爲如何ニ定ムベキカニ關シ諸國政府ニ諮問スル必要ヲ主張セリ

右使用者側委員ノ修正案ノ第一ノ部分ハ十六票對四票ヲ以テ採擇セラレ第二ノ部分ハ第十四票對十票ニテ否決セラレタリ

### 三十九(ハ) 內國人ト外國人トノ均等待遇ノ原則

或ル政府側委員ハ癱疾、老齡、及寡婦孤兒保險ニ關スル一九三三年條約案ハ內國人ト外國人トノ均等待遇ヲ確立スルコトヲ指摘シ且權利ノ保全ニ關スル本條約案ガ癱疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ關スル一九三三年ノ條約案ヲ批准セザル國ニ依リ批准セラルルトキハ一九三三年ノ條約案ニ規定セラルル均等待遇ノ規定ハ是等ノ國ニ關シテハ作用セザルベシ、仍ツテ此ノ件ニ關シテ諸國政府ニ對シ諮問スルコト必要ナリ仍ツテ右使用者ハ新ニ左ノ第三十九點(ハ)ヲ加フルコトヲ提案セリ

三十九(ハ)本制度ヲ採用スルモ強制癱疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ關スル條約案ヲ批准セザル締盟國ハ保險加入及保險給付ニ關シ自國民ト同一ノ地步ニ於テ他ノ締盟國ノ國民ヲ待遇スルコトヲ約ス

右提案者ハ右ノ修正案ヲ支持シテ一九三三年ノ諸條約案ハ受給者ガ國外ニ居住スルトキハ公ノ基金ヨリ支拂ハルル年金ノ補助金、附加金又ハ一部ヲ支拂ハザル權利ヲ批准締盟國ニ對シテ與フルコトヲ指摘シ且右ノ修正案ニ左記ノ新條項ヲ加フルコトヲ提案セリ

公ノ基金ヨリ全部又ハ主トシテ支拂ハルル年金ノ補助金又ハ附加金又ハ一部ニ關スル可能ナル制限右ノ如ク變更ヲ加ヘラレタル修正案ハ三十票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

### 四十 廢棄ノ効力

權利保全ノ爲ノ國際制度ニ從ヒテ付與セラルル年金及其ノ他ノ給付ニ對スル權利ハ最終的ニ (For once and all) 確然ト確保セラルベキナリ双務協定ハ既得ノ權利ノ原理ヲ尊重シ且此ニ關スル特別規定ヲ具體化ス、確立セラルベキ國際制度ハ其ノ例ニ倣フヲ可トス

事務局提案ノ原案左ノ如シ

四十、廢棄ノ効力

廢棄ハ

- (イ) 國際制度ノ效力消滅前ニ生熟セシ請求權ニ對スル保險機關ノ給付義務及
- (ロ) 國際制度ノ效力消滅前ノ期間ニ對スル權利ヲ滅殺セズ

右ノ原案ハ二十一票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

四十一 國際制度ト特殊條約トノ關係

事務局ハ國際制度ト特殊條約トノ關係ノ問題ヲ提起シ且考慮セラルベキ各種ノ解決方法ヲ灰色報告書ニ記載スルニ留メタリ

或ル政府側委員ハ此ノ二ノ主要方法ニ關シテ諸國政府ニ對シテ諮問ヲ行フコト望マシキ旨宣言セリ  
一ノ解決方法ハ國際制度ヲ採用スル締盟國ニ對シテ相互ノ間ニ國際制度ト兩立セザル特殊條約ヲ締

結セザル義務ヲ課スルコト之ナリ此ノ方法ハ國際制度ニ規定セラルル規則ト兩立セザル規則ヲ包含スル既存ノ條約ノ改正ヲ伴フモノナリ將來締結セラレルコトアルベキ相互條約ハ國際制度ニ離反セザルベシ、尤モ、移民勞働者ニ對シテ一段ト廣汎ナル權利ヲ與フルトキハ此ノ限リニ在ラズ爾後ニ設ケラルル一般的法律ハ從前ノ特別ノ法律ヲ廢棄スルモノニ非ズトナス規則ハ國際法ニ於テハ屢々使用セララル處ナルガ、此ノ規則ヲ適用スルコトニ依リ本國際規律ノ義務的性質ヲ既存ノ相務條約ニ有利ニ緩和スルコトヲ得

モ一ツノ解決方法ハ國際制度ヲ採用スル締盟國ニ對シテ特殊條約ニ依リ本國際制度ヨリ離反シ得ル權利ヲ付與スルモノナリ然レドモ此ノ權利ヲ制限スルコト必要ナルベシ特殊條約ハ如何ナル場合ニ於テモ國際勞働條約ニ依リテ他ノ國ニ與ヘラレタル權利ヲ滅殺スベキニ非ズ加之特別條約ニ依リテ課セラルル條件ガ國際制度ニ依リテ與ヘラルル條件ニ比較シテ全體トシテ遜色ナキ限リハ別ナレドモ然ラザル場合ハ權利ノ保全ハ特別條約ニ依リテ規律セラルベキニ非ザルナリ

此ノ件ニ付テ諸國政府ニ對シテ提出セラルル質問ガ明瞭ヲ缺ク憾ミ無キヲ期スル爲右ト同一人タル政府側委員ハ事務局原案ヲ左ノ如ク完結スベク提案セリ

四十一 國際制度ト特殊條約トノ關係

- (イ) 國際制度ヲ採用スル締盟國ハ國際制度ト兩立セザル特殊條約ヲ相互ニ締結セザルベキ義務

(ロ) 又ハ特殊條約ガ取得ノ中途ニ在ル權利及既得ノ權利ニ付、國際勞働條約ニ依リ規定セララル條件ニ比較シテ全體トシナ少クトモ遜色ナキ條件ノ下ニ積極的規定ヲ設クル限リ國際制度ヲ採用スル締盟國ガ特殊條約ニ依リテ本國際勞働條約ヨリ離反シ得ル權限

或ル勞働者側委員ハ第四十一點ノ極メテ重大ナルコト、國際制度ト既ニ締結セラレタルカ又ハ今後締結セラレベキ特殊條約トノ關係ヲ明確ニ記載スルノ必要及特殊國際團體ニ依リテ演セラレベキ役割ノ重要性、(特殊國際團體ノ設立ニ付テハ計畫中ナルガ第二ノ方法ガ採擇セララルトセバ其ノ任務ハ特ニ特殊條約ガ國際勞働條約ニ規定セララルル條件ニ比較シテ全體トシテ少クトモ遜色ナキ條件ノ下ニ權利ヲ保全スルヤ否ヤヲ決定スルニアルベシ)ヲ主張セリ同氏ハ又前ニ勞働者側委員ニ依リテ提出セラレタル要求ニ從ヒ右ノ團體ニ於テ勞働側ノ代表ヲ置クコトノ重要ナルコトヲ主張セリ

既ニ締結セラレタルカ又ハ今後締結セララルベキ條約ニ關シテ諸國政府ニ對シテ一段ト明確ニ諮問スルコトヲ得ル様或ル政府側委員ハ(イ)項ハ左ノ如ク書キ改メラルベキコトヲ提案セリ

(イ) 國際制度ヲ採用スル締盟國ハ相互ノ間ニ締結セラレタルカ又ハ締結セララルベキ特殊條約ニシテ國際制度トハ兩立セザルモノニ依リテ國際制度ヨリ離反セザルベキ義務

同氏ハ同様ニシテ(ロ)項ニ於テモ亦「特殊條約」ナル字句ニ「既ニ締結セラレタルカ又ハ今後締結セラレベキナル字句ヲ附スルコトヲ提案セリ

主要ナル修正案ノ提案者ハ是等ノ變更ヲ受ケ容レ左ノ如ク變更ヲ加ヘラレタル第十四點ノ字句ハ三十票對零ニテ採擇セラレタリ

#### 四十一、國際制度ト特殊條約トノ關係

(イ) 國際制度ヲ採用スル締盟國ハ既ニ締結セラレタルカ又ハ今後締結セララルベキ特殊條約ニシテ國際制度ト兩立セザルモノニ依リテ國際制度ニ悖ラザルベキ義務

(ロ) 又ハ特殊條約ガ取得ノ中途ニ在ル權利又ハ既得ノ權利ノ保全ニ付國際勞働條約ニ依リテ規定セララルル條件ニ比較シテ全體トシテ少クトモ遜色ナキ條件ノ下ニ積極的規定ヲ設クル限リ國際制度ヲ採用スル締盟國ハ既ニ締結セラレタルカ又ハ今後締結セララルベキ特殊條約ニ依リテ本國際勞働條約ヨリ離反シ得ル權限

### 結論案

總會ハ

癡疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ於ケル移民勞働者ノ取得ノ中途ニ在ル權利及既得ノ權利ノ保全ニ關シ國際勞働事務局ニ對シテ提出セラレタル報告書ヲ審議シ

一國ヨリ他國ニ移住スル勞働者ノ爲癱疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ基ク既得ノ權利及取得ノ中途ニ在  
ル權利ノ保全ニ關スル問題ハ條約案ノ題目ト爲スコトヲ得ト思惟シ

左記ノ主要點ニ付諸國政府ニ諮問スベキコトヲ國際勞働事務局ニ對シ從憑ス

一——國際制度ノ確立

一、一國ヨリ他國へ移住スル勞働者ノ爲強制癱疾、老齡、及寡婦孤兒保險ニ於テ

(イ) 取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全

(ロ) 既得ノ權利ノ保全(非釀出制年金ヲ含ム)

ヲ組織スル爲國際制度ヲ確立スルノ原理

二——取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全

い——國際制度ノ下ニ於ケル受益者

二、國際制度ヲ採用スルニ又ハ三以上ノ締盟國ニ於ケル保險機關ニ相次ギテ加入スル勞働者及斯ル勞  
働者ノ被扶養者ニ對シ右制度ヲ適用スルコト

三、受益者ノ國籍

(イ) 國籍ヲ問ハズ一切ノ者ニ對シ

(ロ) 又ハ國際制度ヲ採用スル締盟國ノ國民タル者ニノミ

(ハ) 又ハ(ロ)項ガ採擇セラレタル場合ハ國籍ヲ有セザル者ニ對シテモ亦

國際制度ヲ適用スルコト

ろ——保險期間ノ通算

四、關係アル各保險機關ニ對スルモノトシテノ取得ノ中途ニ在ル權利ヲ保全スル爲

(イ) 釀出金期間

(ロ) 及ビ釀出金ハ拂込マレザルモ左記ニ基キ權利ノ保全セラルベキ期間

一、關係アル機關ノ少クトモ一ノ法律

二、又ハ關係アル特定機關ノミノ法律

(ハ) 及ビ

一、國際制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ癱疾、老齡、寡婦孤兒保險機關ニ依リテ年金ノ支拂ハル  
期間

二、年金又ハ其ノ他ノ現金給付ガ國際制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ社會保險ノ他ノ部門ニ依リ  
テ支拂ハルル期間

(但シ當該締盟國ノ社會保險ニ於テ支拂ハルル對當ノ年金又ハ其ノ他ノ現金給付ガ取得ノ  
中途ニ在ル權利ヲ保全スル限リトス)

五、關係アル各機關ニ對スルモノトシテノ資格期間（保險加入義務ノ最短期間）又ハ特別給付ノ受給資格ニ付規定セラルル釀出金ノ回数（最低保障年金）ヲ計算スルニハ左記ヲ通算スルコト

(イ) 釀出期間

(ロ) 及釀出金ハ拂込レマザルモ左記ニ基キ資格期間又ハ所定ノ釀出金回数ヲ計算スル上ニ計上セラルル期間

(一) 關係アル機關ノ少クトモ一ノ法律

(二) 又ハ關係アル特定ノ機關ノ法律

六 職業保險制度

關係アル締盟國ノ一ノ國內法ガ給付付與ノ條件トシテ一切ノ期間ガ特殊保險制度（例ハ給料被用者保險、鑛夫保險）ニ包含セラルル職業ニ於テ費サレタルコトヲ要求スル場合ニ適用セラルル制限

資格期間又ハ所定ノ釀出金回数ヲ計算スルニハ他ノ締盟國ノ對當ノ特殊保險ノ下ニ於テ費サレタル期間ノミ通算セラル

六、(イ)或ル國ニ特定ノ職業ニ對スル特殊制度ガ存在セザルトキハ對當セザル制度ノ下ニ在ル當該職業ニ於テ費サレタル期間ハ資格期間ノ計算上通算セラルベク又ハセラルルコトヲ得

七、第五及第六點ノ原則ヲ保險ノ他ノ關係就中左記ニ對シテ適用スルコト

(イ) 權利ノ回復

(ロ) 任意保險ニ加入スル權利金

八、競合的期間ノ計算

二又ハ三以上ノ締盟國ニ於テ同時ニ費サレタル釀出金期間及類似ノ期間ハ通算ノ爲ニハ一回ノミ計上セラル

九、短期間ノ除外

通算ニハ特定ノ癱疾、老齡及寡婦孤兒保險制度ノ下ニ於テ又ハ專ラ特定ノ保險機關ノ下ニ於テ費サレタル期間ガ通計シテ最短期間（例ハ七十五釀出金日又ハ十三釀出金週）ヲ超ユルトキニミ計上セラル

ハ一各保險機關ノ給付義務ノ決定

十、請求者ノ權利ノ各機關ニ依ル決定

各機關ハ計上セラルベキ期間ヲ通算シナガラモ請求者ガ所定ノ資格條件ヲ具備スルヤ否ヤヲ自己ノ法律ノミニ依リテ決定ス

十一、左記ノ如ク計算セラルル給付ヲ支拂フベキ各保險機關ノ義務

(イ) 保險加入期間ニ應ジテ變化スル給付（給付ノ構成分子）

各保險機關ハ請求者ガ資格條件ヲ具備スルトキハ自己ノ法律ニ基ク給付ノ計算上計上セラルル期間ノミヲ考慮シテ自己ノ法律ニ從ヒテ支拂フベキ額ヲ決定ス

(ロ) 保險加入間期ニ關係ナク定メラルル給付(給付ノ構分分子)

此ノ場合ニ於テハ保險加入期間(資格期間ヲ除ク)ニ關係ナク定メラルル給付又ハ給付ノ構成分子ノ左記ノ割合ニ相當スル部分ノミガ支拂ハルベシ

(一) 當該機關ノ法律ニ基ク給付ノ計算上計上セラルル期間ガ一切ノ關係機關ノ法律ニ基ク給付ノ計算上計算セラルル期間ノ全體ニ對シテ有スル割合

(二) 又ハ當該機關ノ法律ニ從ヒ費サルル釀出期間ガ一切ノ關係機關ノ法律ニ從ヒ費サルル釀出期間ノ全體ニ對シテ有スル割合

(釀出金回数及釀出金額ニ關係ナク決定セラルル給付ノ構分分子ノ例、一切ノ年金受給者ニ

對シテ同率ナル年金、保險加入期間ニ關係ナク決定セラルル固定額又ハ基本額、固定補助金、最低保障年金、又ハ手當)

十二、第十一點(イ) 及(ロ)一ノ原則ヲ全部又ハ主トシテ公ノ基金ヨリ支拂ハルル補助金、附加金又ハ手當ニ對シテ適用スルコト

十三、期間ガ通算セラルルモ猶請求者ガ一機關ヨリシカ給付ヲ受クル權利ヲ有セザル場合ニ對シ第十

一點ノ原則ヲ適用スルコト

十三(イ)保險事故發生セシ場合ニ被保險者ガ最後ノ保險ヲ受ケタル機關ノ下ニ於テ費シタル期間ニ依リ最大限度ノ年金ヲ受クル資格ヲ有スルトキハ第十一點(ロ)ノ原則ニ從ヒテ減額ヲ行ハザルコトヲ得ル當該機關ノ權限

十四、特定ノ癱疾、老齡及寡婦孤兒保險制度又ハ専ラ特定ノ機關ノ下ニ於テ費サレタル期間ガ通計シテ最短期間(例ヘバ三百釀出金日又ハ五十二釀出金週)ニ達セザルトキハ關係機關ニ給付ノ義務ハナキコトトシテ第十一點(ロ)ノ原則ヲ適用セザルコト

十五、保護條項

(イ) 少クトモ二國ニ於ケル給付ヲ受クル資格ヲ有スル受益者ハ關係期間ガ専ラ特定ノ保險機關ノ

ミニ於テ費サレタルモノトセバ受クベキナル給付ニ均シテ全額給付ヲ保障セラルベキコト

(ロ) 右ノ機關ハ保障ノ結果トシテ支拂ハルベキ補助的給付ノ支拂義務ヲ負フベキコト

(ハ) 數箇ノ機關ガ關係アルトキハ右補助的給付ハ關係機關ノ何レカ一ヨリ受クベキ最高ノ補助給

付ノ額ニ從ヒテ計算セラルベク右補助給付支拂義務ハ各箇ノ機關ヨリ各別ニ支拂ハルベカリシ補助的給付ニ比例シテ是等機關ノ間ニ分擔セラルベキコト

十六、給付全額ノ最高限度



(イ) 二又ハ三以上ノ國ノ保險機關ニ依リ付與セララル全額給付ハ計上セラルベキ一切ノ期間ニ基  
 キ最モ有利ナル法律ヲ有スル機關ヨリ支拂ハルベキ給付ノ額ニ之ヲ制限スルヲ得ル權限  
 (ロ) 減額ハ付給ノ各部分ニ比例シテ行ハルベキコト  
 十七、醫療及看護

(イ) 癱疾ノ理由ニ依リ年金ヲ請求スル權利ヲ有スル者ニ付癱疾ヲ豫防シ延期シ緩和シ又ハ治療ス  
 ル爲醫療及看護ノ設備ヲ居所ノ保險機關ニ保險機關ニ委任スルコトノ可否  
 (ロ) 醫療及看護ノ費用ヲ關係アル他ノ機關ガ分擔スルコトニ關スル規則  
 乙——請求ノ決濟

十八、給付ノ請求ノ提出

(イ) 關係アル機關ノ中ノ一(就中居住國ノ機關)ノミニ對シテ(右機關ハ請求ニ記載アル他ノ一  
 切ノ機關ニ通告スルコトトシテ)又ハ

(ロ) 關係アル各機關ニ對シテ各別ニ

十九、爲替相場

或ル金額ヲ他ノ締盟國ノ通貨ニ換算スル必要アルトキハ其ノ通貨ヲ以テ右金額ガ表ハサル締盟國  
 ノ首府ノ外國爲替市場ニ於ケル兩通貨間ノ相場ニ依リ換算スルヲ要ス

二十、假給付

決算迄ハ保險機關ハ自己ノ法律ノ下ニ費サレタル保險期間ノミニ依リテ支拂ハル給付ニ少クトモ  
 均シキ額ノ假給付ヲ付與スベキコト

丙——任意規定

二十一、取得ノ中途ニ在ル權利ニ相當スル資金ノ移讓ニ依ル義務ノ履行

被保險者ノ出發ノ日ニ於テ取得ノ中途ニ在ル權利ニ相當スル資金ヲ爾後右被保險者ニ付責任アル機  
 關ノ承諾ヲ條件トシテ之ニ支拂フコトニ依リ右被保者又ハ其ノ被扶養者ニ對スル給付義務ヲ履行スル  
 保險機關ノ機限

二十一(イ)各保險機關ノ法律ニ基ク給付ノ計算上計上セラルル期間ヲ特ニ考慮シテ各機關ノ支拂フベ  
 キ給付ヲ計算スル上ニ双務協定ヲ以テ第十一點ノ原則ニ從ハザルコトヲ得ル締盟國ノ權限

三——既得ノ權利ノ保全

い——國際制度ノ下ニ於ケル受益者

二十二、受益者ノ居所

(イ) 其ノ居所ヲ問ハズ一切ノ受益者ニ對シ又ハ

(ロ) 國際制度ヲ採用スル締盟國ノ領域内ニ居住スル受益者ニ對シテノミ

國際制度ヲ適用ス

二十三、受益者ノ國籍

- (イ) 國籍ヲ問ハズ一切ノ受益者ニ對シ
- (ロ) 又ハ國際制度ヲ採用スル締盟國ノ國民ノミニ對シ
- (ハ) 又ハロ項ガ採擇セラルトキハ國籍ヲ有セザル一切ノ者ニ對シテモ亦  
ろ——國際制度ノ目的

國際制度ヲ適用ス

二十四、國際制度ヲ

- (イ) 權利ノ取得セラレタル給付ノ全體ニ對シ又ハ
- (ロ) 公ノ基金ヨリ全部又ハ主トシテ支拂ハルル補助金、附加金又ハ手當ノミニ對シテ  
適用スルコト

二十五、公ノ基金ヨリ全部又ハ主トシテ支拂ハルル補助金附加金又ハ手當ハ左記ノ何レカニ對シテ支拂ハルベキコト

- (イ) 國籍ヲ問ハズ一切ノ者ニ對シテ
- (ロ) 又ハ國際制度ヲ採用スル締盟國ノ國民ノミニ對シテ

(ハ) 又ハロ項ガ採擇セラルルトキハ國籍ナキ一切ノ者ニ對シテモ  
二十六、年金ノ一時金振替ニ關スル制限

國際制度ヲ採用スル締盟國ノ領域内ニ居住スル間ハ國外居住ノ場合ニ於ケル年金ノ一時金振替ニ關スル國內法ノ規定ヲ國際制度ノ下ニ於ケル受益者ニ對シ適用セザルコト

ハ——給付ノ支拂ニ關スル手續

二十七、支拂ノ方法

受給資格ヲ有スル者ニ對シテ自國ノ通貨ヲ以テ給付義務ヲ履行スル給付義務アル保險機關ノ權限

二十八、小額年金ノ振替

年金ニシテ月額ガ一定ノ最低限度ニ達セザルモノヲ當該機關ニ適用アル規定ニ從ヒ計算セラルベキ一時金ニ振替フルコトヲ得ル給付義務アル保險機關ノ權限

二十九、減額及停止ニ關スル規定

他ノ社會保險給付トノ競合的權利ノ場合又ハ強制保險ヲ伴フ勞務ノ遂行ノ場合ニ於ケル給付ノ減額又ハ停止ニ關スル締盟國ノ國內法ノ規定ハ本制度ヲ採用スル他ノ締盟ノ領域内ニ設ケラルル保險機關ニ依リ支拂ハルベキ給付及斯ル領域内ニ於ケル勞務ノ遂行ニ關シテモ受給者ニ適用セラル

第四——管理上ノ相互援助

三十、相互援助ノ原則

國際制度ヲ採用スル締盟國ノ官廳及社會保險機關ハ自國ノ社會保險法令ヲ適用スル場合ト同一ノ程度ニ於テ相互ニ援助スベキコト

三十一、調査

國際制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ保險機關ニ給付義務アル給付ノ受給者ガ資格條件ヲ具備スルヤ否ヤヲ決定スル爲右機關ヨリ要求セラルル必要ナル調査及醫學診斷ヲ包含スベキ相互援助

三十二、相互援助ノ費用

相互援助ノ費用ノ償還ニ關スル規則  
 (イ) 援助ヲ付與スル保險機關又ハ官廳ノ表ニ依ル償還金額ノ決定又ハ表ナキトキハ生ジタル實費ノ償還

(ロ) 償還ノ日

三十三、免稅

締盟國ノ官廳又ハ保險機關ニ提出セラルル書類ニ對シ付與セラルル免稅ノ特權ハ國際制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ官廳又ハ保險機關ニ對シ國際制度ノ管理ニ關聯シテ提出セラルル對當ノ書類ニモ擴張セラルベキコト

三十四、受益者ノ居所ノ保險機關ニ依ル全額給付ノ管理及支拂

受益者ガ國際制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ領域内ニ居住スルトキハ給付義務アル機關ハ當該受益者ノ居所ヲ管轄スル機關ト協定シ其ノ償還ヲ條件トシテ給付ノ管理ヲ委任スル事ヲ得シメラルベキコト

三十四(イ) 申告ノ義務  
 國際制度ヲ採用スル締盟國ノ保險ニ加入スル被保險者ガ右加入ノ日ヨリ起算セル特定ノ期限内ニ國際制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ保險ニ於テ費シタル期間ヲ申告スル義務

第五——國際制度ノ實施

三十五、効力發生ノ日

(イ) 最初ノ効力發生

二締盟國ニ依ル條約案ノ批准登録後十二月

(ロ) 他ノ締盟國ニ對スル効力發生

其ノ批准ノ登録後十二月

三十六、他ノ點ニ於テハ年金受給資格アル者ガ單ニ國外ニ居住スル爲付與セラレザリシカ又ハ停止セラレ居ル年金

國際制度ノ効力發生ノ日ヨリノ斯ル年金ノ付與又ハ支拂ノ再開  
三十七、國際制度ノ効力發生前ノ期間ニ關スル權利ノ回復

國際制度ヲ適用スルニ當リテハ當該制度ノ効力發生前ノ期間ヲ考慮スベキコト

三十八、本制度ニ基キ權利ヲ回復シ又ハ付與ヲ爲スコトヲ目的トスル以前ノ付與ノ再審査及權利ノ再  
審査

(イ) 再審査ハ

職權ニ據リ

(二) 關係アル保險機關ノ一ノ請求ニ基キ

(三) 請求者ヨリノ要求ニ基キ

行ハル

(ロ) 再審査ハ

(一) 請求ガ既ニ一時金ノ支拂ニ依リ決算セラレ居ル場合

(二) 關係者ガ本制度ヲ採用スルニ又ハ三以上ノ締盟國ノ機關ニ依リ國際制度ノ實施以前ニ年金

ヲ付與セラレ居リタル場合

行ハレズ

(ハ) 再審査ハ本制度ノ効力發生前ノ期間ニ付テノ未拂金ノ支拂又ハ給付ノ返濟ヲ伴フモノニ非ズ

三十九、少クトモ老齡事故又ハ廢疾事故ヲモ包含スル強制保險制度ヲ未ダ創設セザル締盟國ハ其ノ批  
准登録後十二月以内ニ然カ爲スコトヲ約スコト

三十九(イ) 本制度ヲ採用スル締盟國ノ廢疾、老齡及寡婦孤兒保險法ニ依リテ充サルベキ最低條件

三十九(ロ) 締盟國ノ一ノ國內法ガ三事故ヲ包含セザル場合ニ適用セラルル規定

三十九(ハ) 本制度ヲ採用スルモ強制廢疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ關スル條約案ヲ批准セザル締盟國ハ  
保險加入及保險給付ニ關シ自國民ト同一ノ地歩ニ於テ他ノ締盟國ノ國民ヲ待遇スルコトヲ約スコト、  
公ノ基金ヨリ全部又ハ主トシテ支拂ハルル年金ノ補助金又ハ附加金又ハ其ノ一部ニ關スル可能ナル制  
限

四十、廢棄ノ効力

廢棄ハ

(イ) 國際制度ノ効力消滅前ニ生熟セシ請求權ニ對スル保險機關ノ給付義務及

(ロ) 國際制度ノ効力消滅前ノ期間ニ關スル權利

ヲ減殺セズ

四十一、國際制度ト特殊條約トノ關係